

新「印西市」誕生記念

各種イベントの参加者を募集

「印西市合併記念美術展覧会 市民の部」

美術展覧会を開催。作品を展示してみませんか。

- 展示期間：平成23年3月2日(水)～6日(日)。
- 会場：文化ホール(大森)。
- 対象：平成22年4月1日現在満18歳以上(高校生不可)で、市内在住または在勤の人。
- 題材：「印西」をテーマとしたもの(風景・風物・産業・人物など)。1人1点。
- 画材：日本画、洋画、水墨画、水彩画、パステル画、鉛筆画、デザイン画、版画など自由(立体は不可)。規格はF10号以内で額装したもの。
- 申し込み：10月29日(金)までに、申込用紙を郵送またはFAXで左記まで(申込用紙は生涯学習課または各公民館で)

「印西市合併記念美術展覧会 市民の部」
 配布)。
 ● 定員：【一般の部】中学生以上として200人【小学生の部】100人。
 ● 参加費：中学生まで1,000円、高校生以上10,000円(結団式にて徴収)。
 ● 練習日程：【一般の部】毎週土曜日・午後または日曜日・午前、【小学生の部】グループ別練習。別に、月1回の全体練習を行います。
 ※詳細な練習日程は、結団式でお知らせします。

新「印西市」誕生記念合唱コンサート

「大地讃頌」作曲された佐藤真氏を迎え、コンサートを行います。当日は、全曲ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の伴奏で歌います。みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

- 日時：平成23年3月21日(祝)午後3時。
- 会場：松山下公園総合体育館(浦部)。
- 曲目：【一般の部】ベートーベン「交響曲第九番」、「大地讃頌」、「ふるさと印西」、【小学生の部】「レリフ」、【翼をください】ほか。

広報いんざい市長室

山崎山洋



浴衣で歓迎パーティを楽しむディビッド・レイノルズ校長(左)とピンス・フォンタナ市長(右)

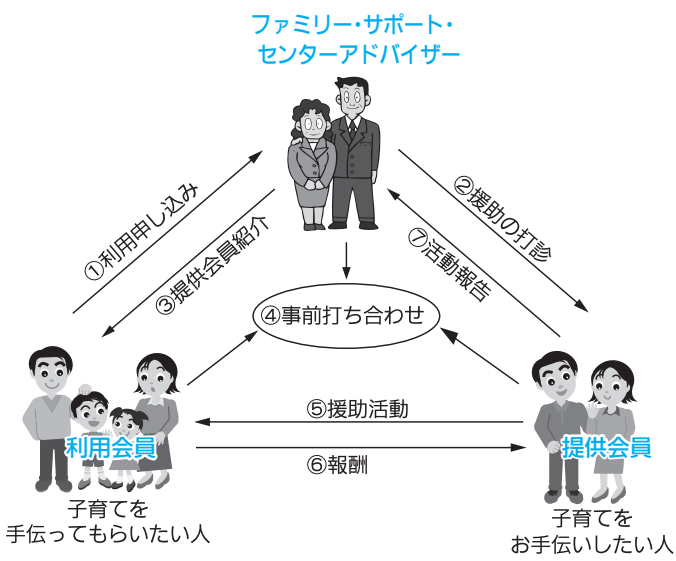
印西中学校では、創立30周年の記念事業として国際交流事業を行っています。今年で22周年を迎えるこの事業は、これからの中学生に夢と希望を与え21世紀の世界へ飛躍してもらうことを目的に始めました。国際ロータリーの取り持つ縁で、オーストラリアのメルボルン郊外にあるウィリアム・ルースベン・セカンダリー・カレッジスクール(以下、ウィリアムス校)と印西中学校とが姉妹校を締結し、毎年交互に訪問し交流を深めています(姉妹校締結時の昭和63年(1989)の校名はレイクサイド・ハイスクールでしたが、学校の統合などにより現在に至っています)。

訪問中は滞在先の家庭に寄宿し、家族の一員として生活します。最初はお互いに戸惑いがあるようですが、帰国の際には、ほとんどの生徒と受け入れた家族が別れを惜しみ、涙を流して再開を約束する姿が見られます。

今年は、生徒15人と関係者5人の計20人が9月19日～29日の11日間滞在しました。関係者の中には、ウィリアム校があるダルピン市のピンス・フォンタナ市長も含まれていました。フォンタナ市長を招いたのは、この事業の20周年に当たる平成20年に私も印西中学校の生徒たちとレイクサイド校訪問に同行し、多くのみなさんと交流を深めることができたことへのお礼の意味もありました。今回いらしたみなさんには、印西中学校の授業への参加、印旛明誠高校や日本医科歯科大学病院の見学のほか、観光では富士山、東京、ドイツニーランドを楽しんでいただきました。

今後もこの交流により両校の友好の絆がさらに深まり、ダルピン市と印西市の友好関係の発展につながればと考えています。
 ※ダルピン市はメルボルンの北に位置し、約53kmの広さに約13万5千人が居住するまちです。

●ファミリー・サポート・センターの仕組み●



提供会員と利用会員を募集

ファミリーサポートセンターは、子育てを手伝ってほしい人と子育てをお手伝いする人を紹介する、地域で子育てを支援する相互援助活動を行っています。

利用の方法
 利用するには、子育てを手伝ってほしい人(利用会員)も子育てをお手伝いした

提供会員の報酬

● 利用会員：市内在住・在勤で、生後6カ月以上小学校6年生以下の子どもがいる人。
 ● 提供会員：市内在住の20歳以上の人で、援助活動に関し、理解と熱意を持つ、心身ともに健康で積極的に援助活動ができる人。

援助する内容

- ・ 保育園や幼稚園などの開始前や終了後、子どもを預かったり送迎をしたりします。
- ・ 学校の放課後または学童保育などの終了後、子どもを預かったり、送迎をしたりします。
- ・ 冠婚葬祭や学校行事のとき

●提供会員報酬●

区分	1時間当たりの報酬額
月～金曜日の午前6時～午後10時	700円
月～金曜日の上記以外の時間	900円
土・日曜日、祝日、年末年始	900円

地デジの準備はお済みですか

2011年(平成23年)7月24日・正午に、これまでの地上アナログ放送は完全停波し、放送が見られなくなります。アナログ完全停波まで、いよいよ300日を切りました。これまでアナログテレビをお使いの方は、そのままでは地上デジタル放送を見ることができません。

【地上デジタル放送の視聴方法】

- 地上デジタル放送を視聴するには、以下の方法があります。
 - ①地上デジタル放送対応のテレビに買い換える。
 - ②地上デジタルチューナーを買い足す。
 - ③地上デジタル放送対応済みのケーブルテレビで視聴する。
- ※①、②の場合は、UHFアンテナの設置工事が必要となります。
 今後、アナログ放送終了が近づくに従い、工事が集中することが予想されます。早めの準備をお願いします。

【経済的な理由で地上デジタル放送が受信できない人へ】

地上デジタル放送簡易チューナーを、無償で給付する制度があります。
 ●平成22年度の受付期間…12月28日(火)まで。
 ※詳しくは下記へ。

【デジタル放送について】デジサポ千葉(総務省千葉県テレビ受信者支援センター) (☎043-333-7100・平日・午前9時～午後9時、土・日曜日、祝日・午前9時～午後6時)。

【簡易チューナーの無償給付について】総務省地デジチューナー支援実施センター (☎0570-033840・平日・午前9時～午後9時、土・日曜日、祝日・午前9時～午後6時)。

